

1 当該学年・学期等における探究課題 《未来に向けて》

2 単元名 『地域貢献活動～地域行事への参画～』（全30時間=実施時期：5月～10月）

3 単元のねらい *本単元で特に身に付けさせたいと考えている資質・能力と、それを身に付けさせるための仕掛け（主な素材・活動等）を明確に

地域行事「宵あかり」への参画を通して、地域の方に出会い、行事に関わる人々の想いに触れることを通して、自らの地域への想いを高めることができる。「宵あかり」へ参画することにより、地域活性化に向けて主体的に取り組む生徒を育成する。」

4 主な活動とふるさと井原の「もの」「ひと」「しごと（こと）」との出逢い・関わりの仕掛け、引き出したい子どもの姿

		課題設定	情報収集	整理・分析	まとめ・表現
主な活動		地域行事へ参画し地域に貢献する。	行事への参画に必要な情報を集めることができる。	集めた情報をもとに、どのような活動を行うか考えることができる。	「宵あかり」で発表・出店する。
引き出したい姿	いばら愛 <small>(郷土愛と当事者性)</small>	地域行事である「宵あかり」の歴史・目的を知り、地域に対する大人の想いを感じることができる。		地域のことを考え、行事を盛り上げるために、様々な制約の中で自分たちができることを考えることができる。	地域の方と一緒に運営し、「宵あかり」で発表・出店を行うことで、地域への想いを高めることができる。
	やり抜く力 <small>(忍耐と向上心)</small>	自分たちで企画・運営することを目指し、試行錯誤しながら、目標達成に向けて取り組むことができる。	自分たちがやりたいことだけを考えるのではなく、来場者のニーズや安全性について情報を収集することができる。	失敗や課題を、自分たちで協力しながらのりこえることができる。	
	まき込む力 <small>(発信と協働)</small>	課題解決に向け、地域の方と協力しながら取り組むことができる。	「宵あかり実行委員」の方から、アドバイスをいただき、考えることができる。		「宵あかり」活動を通して、運営する人や来場する人など多くの地域の方と関わることができる。
仕掛け・工夫	もの			様々な制約の中で、具体的に何をするのかを考える。	
	ひと	「宵あかり実行委員」の方と交流会を行う。	「宵あかり実行委員」の方に、可能なこと不可能なことを確認する。	「宵あかり実行委員」の方に定期的にアドバイスをいただく。	運営する人や来場する人など多くの地域の方と関わる。
	しごと（こと）				当日の運営・発表・出店を行う。
アウトプットの工夫		地域資源の生かし方について、校内での発表だけではない発信の仕方を、生徒とともに考える。			

5 他教科・領域、学校行事等との関連

進路学習・技術家庭科・美術

6 他学年、他校（園）種、外部団体との連携・接続・交流

郷土学習（1年） ワーク&ライフ交流会（2年）
宵あかり実行委員会

◆単元のねらい 地域行事「宵あかり」への参画を通して、地域の方に出会い、行事に関わる人々の想いに触れることを通して、自らの地域への想いを高めることができる。

「宵あかり」へ参画することにより、地域活性化に向けて主体的に取り組む生徒を育成する。」

スタート場面



試行錯誤の場面

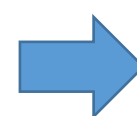


みんなが楽しめるゲームとは？

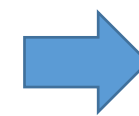
当日



「宵あかり実行委員会」の方との出会い
宵あかりの歴史や目的を聞くことができた。
地域の方の熱い想いに触れることができた。



夏にふさわしいスイーツとは？



「宵あかり当日」
準備までは活動に参加。しかし、コロナ感染拡大防止のため急遽参加中止。
生徒が考えたスイーツは実行委員会の方が発表、ゲームコーナーも実行委員の方が運営した。

まとめ
当日、参加できなかったことは残念だったが、地域の方の想いや行事を企画・運営することの大変さを感じ、それぞれにとって学びの場とすることはできた。



「学級討議」～参画に向けて～
実行委員の方の話を聞いて、参画について検討。
芳井のために活動したいと意見がまとまった。



地域を盛り上げるステージ発表とは？

◆成果（○）・課題（△）・来年度に向けて（☆）

- 新たな取組として、地域に貢献する活動を計画することができた。地域の方との協力体制を作ることができた。
- △実際に、当日参加できなかったことで達成感を味わうことができなかった。
- ☆来年度も、継続して取り組んでいきたい。